

要支援者の付与情報

○基礎情報

氏名 防災太郎 昭和9年1月1日生まれ（88歳）
住所 里庄町里見1107-2 組合名 役場中
携帯電話 090-1234-1234、自宅電話 64-3111
E:mail なし、FAX 64-3618
家族 妻：防災花子（85歳）同居
長男：防災一郎（60歳）会社員、里庄町浜中892-1
携帯電話 090-1234-1234、自宅電話 64-4888
実妹：減災福子（84歳）無職、里庄町新庄2405
携帯電話 090-5678-5678、自宅電話 64-5465

○身体状態

私は、要介護3の認定を受けています。

歩行や両足立ちなどの動作が困難なため、場所により車いすや介助が必要です。

椅子からの立ち上がりや片足立ちができません。

身のまわりのことが自分一人ではできないため介助が必要です。

（着替え、排泄、入浴に介助が必要です）

○自宅の状況

家は木造2階建てで、昭和55年に建てました。

息子から土砂災害は心配ないが、洪水と内水による浸水で0.5mくらいつかると以前聞いたことがあります。

○生活状況

月、水、金はデイサービス里ちゃんに通所して入浴の介助を受けています。ケアマネージャーは介護計画センター里ちゃんけんこうかずこの健康一子さんです。

日中は1階の居間で過ごし、夜間は居間の奥の寝室で寝ています。

ベッドで寝ており、起き上がって座ることは自分の力でできます。

家の中は歩行器で移動できますが、屋外では車いすを使用します。

食事はスプーンとホークでなら自分で食べれます。

排泄は紙パンツを使用していますが、自分で履くのは難しく妻に手伝ってもらっています。

左耳は聞こえにくいので、右側から話かけてください。（補聴器無）

大きな声なら日常会話はできます。

つばき眼科に白内障で通院しており、両目とも小さな文字は見えにくいです。（メガネ使用）

妻も私も耳と目が悪いため大雨が降っても、**家の周りの様子はわかりません。**

ボタン操作など細かな動きができないため、**電話やメールは使用できません。**

問題行動はありません。(家族が回答)

医療機器は使用していません。

つばき内科に高血圧症でかかりつけで、**血圧を下げる薬**を朝食後1錠服用しています。(降圧錠剤 400 mg)

高齢者世帯で電話にすぐには出られないため、連絡の際は**留守番電話**に入れてほしいです。

○避難支援者等

防災一郎 (長男) 里庄町浜中 892-1

携帯電話 090-1234-1234、自宅電話 : 64-4888

きんじょよしお

近所善男 (隣人) 里庄町里見 1107-12

携帯電話 090-1234-5678、自宅電話 64-3112

○緊急連絡先

防災一郎 (長男) 里庄町浜中 892-1

携帯電話 090-1234-1234、自宅電話 : 64-4888

減災福子 (実妹) 里庄町新庄 2405

携帯電話 090-5678-5678、自宅電話 : 64-5465

○担当民生委員

ちくさちこ
地区幸子

携帯電話 090-5678-9012、自宅電話 : 64-7215

○避難方法

風水害のときは、家の**車いす**で**役場中公民館**へ移動します。

震災時は**避難支援者の車**で**つばき中学校**へ移動します。

高齢者避難が発令されたら避難するよう息子に言われています。

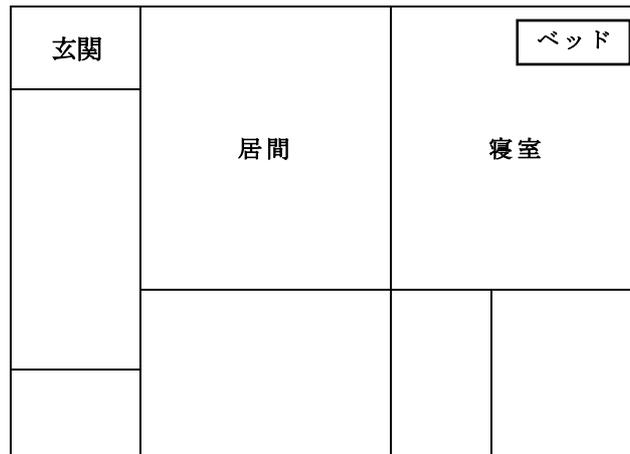
非常持出品 (処方薬、紙パンツ、お薬手帳、メガネ、保険証、現金) は、**寝室のベッドの下に保管**しています。

○避難支援者

風水害のときは、必ず公民館へ避難するので**車いすの介助**をお願いします。

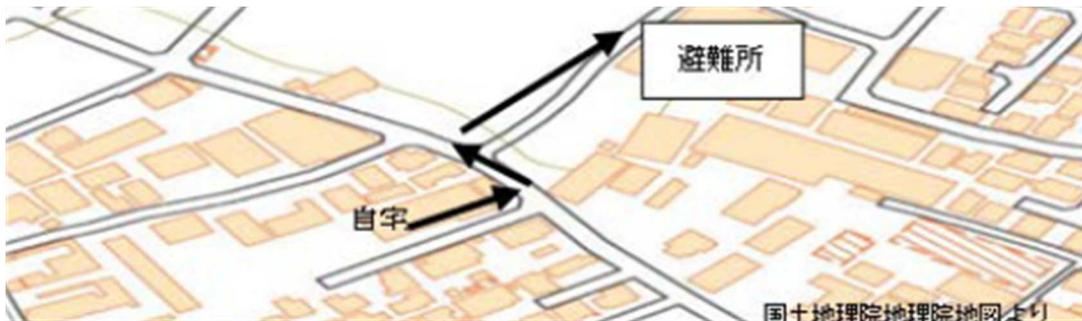
震災のときは避難所まで距離があるため**避難支援者の車**でお願いします。車が使えなければ**車いす介助**をお願いします。

○自宅の見取図



※非常持出品はベッドの下へ保管

○避難所経路



避難所の役場中公民館は自宅から**車椅子で5分程度**です。

避難所の前の道には**段差があり車いすは注意**が必要です。

避難経路は自宅から県道の三差路を左折して、次の横断歩道を右折し県道を横断、そのまま直進して避難所に到着します。